

事業別行政サービス成果表

1. 事業名等

事業名	国内交流事業			決算書頁	116
視点・政策	01 暮らし・02 にぎわう				
施策	15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます				
所管部・課	市民環境部 文化・観光・スポーツ課	作成者	課長	人見 巖	

2. 事業の目的

姉妹都市等との友好、親善を促進することで、相互の発展に寄与する

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		R1年度	30年度	比較	財源		R1年度	30年度	比較
内訳	総事業費	155	730	△575	一般財源	155	730	△575	
	事業費	155	730	△575	国県支出金				
	職員人件費				地方債				
	減価償却費				特定財源(その他)				
参考	職員数(人)								
	再任用職員数(人)								

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>	国内交流事業	細事業事業費(千円)	155
(1) 参画と協働の主な手法(実績)			
(2) R1年度の取組と成果			
主な取組	①全国川西会議への参加(負担金)…155千円		
	<p>【千葉県香取市(旧佐原市)との交流】</p> <p>平成2年8月1日に、旧佐原市(平成18年3月27日、合併により香取市)と姉妹都市提携し、交流を続けてきたが、提携20周年を迎えた平成22年7月17日に再度、香取市と姉妹都市提携協定書を取り交わし、交流の継続を確認した。</p> <p>【主な交流内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 川西市役所内にて川西市国際交流協会が斡旋したサツマイモの販売を行い、香取市の魅力PRを行った。 広報誌などを通じて、双方の市の情報交換を行った。 		
			
	香取神宮	香取市特産 サツマイモ(ベニアズマ)	

【全国川西会議（ネットかわにし）】

「川西」という名のもと、お互いが連携意識を高めるとともに、共同してまちの資源や特質を活かし、住民や行政など幅広い分野における交流を通して相互の豊かなまちづくりをめざすため、平成9年11月10日に設立された。総会の開催等を通して、構成市町の交流を図っている。

（平成10年11月19日「災害応急対策活動の相互支援に関する協定」を締結）
 〈構成市町・兵庫県川西市、山形県川西町、奈良県川西町、新潟県十日町市〉

【全国川西会議総会】 開催場所：奈良県川西町（1月28日）

各市町の首長、議長が当市に来訪し、構成市町のまちづくりや交流について協議した。
 総会（川西町中央公民館 けやきホール）、唐古・鍵遺跡 視察

【古田旗争奪少年軟式野球大会】 開催場所：東久代運動公園（7月13日～15日）

川西市少年野球連盟が、「古田旗争奪少年軟式野球大会」に奈良県川西町の少年野球チームを招待し、川西市の少年野球チームと交流を図った。



全国川西会議総会

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		千葉県香取市との交流で、香取市特産のサツマイモを市役所内で販売し、市民などに向けて香取市の魅力をPRした。 また、全国川西会議については、奈良県川西町が幹事を務め、総会が現地で行われた。首長、議長、担当職員など、情報交換を行った。
市民の利便性や事業の効率性が向上した。		
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。	○	
課題と改善について	姉妹都市との交流は、川西まつりでの特産品販売や、全国川西会議での年2回の会議、研修といった毎年恒例の事業にとどまっている。 同会議構成市町の特産品を集めたクワトロ鍋に続く連携商品の開発など、各地の特色を生かした取り組みを展開していく必要がある。	令和2年度以降における具体的な方向性について
		香取市との交流については、これまでの実績を踏まえ、新たな交流や連携を検討する。 また、全国川西会議については、発展的な会議の運営をめざし、総会及び若手交流研修の開催の手法を含めたあり方を、構成各市町で協議する。